

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

2項 工鉱業費

2目 中小企業振興費

産業振興戦略総室（内線：7663）→産業振興総室

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)バイオ産業構想推進事業	4,930	0	4,930				4,930	
トータルコスト	12,387千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：0.9人							
主な業務内容	委託契約事務							

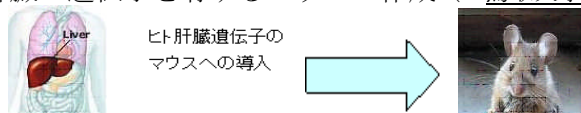
事業内容の説明

1 事業の概要

鳥取大学医学部の染色体工学技術を活用して、鳥取県における次世代型産業と位置づけるバイオ・医療産業の集積促進を図るため、必要となるバイオ関連研究施設の整備を推進、支援する。

2 背景（都市エリア産学官連携促進事業の成果）

○ヒト肝臓の遺伝子を有するマウスの作成（⇒鳥取大学医学部で開発）



○開発した技術は、世界トップレベルであり、関係者の評価も極めて高い

- ・第23回日本薬物動態学会（平成20年11月1日）にてベストポスター賞を受賞
- ・製薬メーカーからの新薬の評価試験への応用について期待の声も大きい

○現在、事業化に向けた最終段階であり、県としても新産業創出に向けた支援が必要  
〔事業化例（想定）〕：新薬の評価試験、食品等の機能性評価 など

3 事業内容

（1）バイオ関連研究施設建設に際しての基本計画策定委託（4,402千円）

〔委託内容（基本計画の内容）〕

- ・バイオ関連研究施設の構成（機能、構造）の概要まとめ
- ・実験に際し、法令に遵守した施設整備の概要まとめ

※バイオ関連研究施設の整備概要（現時点での想定）

⇒鳥取大学及び(財)鳥取県産業振興機構と連携の上、貸し研究室等を整備し、大学・企業での研究を加速させ、染色体技術の産業化を目指す。

（規模）総面積1,000㎡（3階）

（総事業費）4.5億～5.5億

⇒企業立地促進等共用施設整備費補助金（国1/2，県1/2）を活用  
（施設内容）貸し研究室、動物実験室、機器分析室、遺伝子実験室

※整備スケジュール（想定）

- 21年度 基本計画、実施設計
- 22年度 施設建設
- 23年度 施設利用開始

（2）県外類似施設事例の調査（528千円）

他県の類似事例の調査（実験施設整備や業務形態等）を行う。